

評価の目的

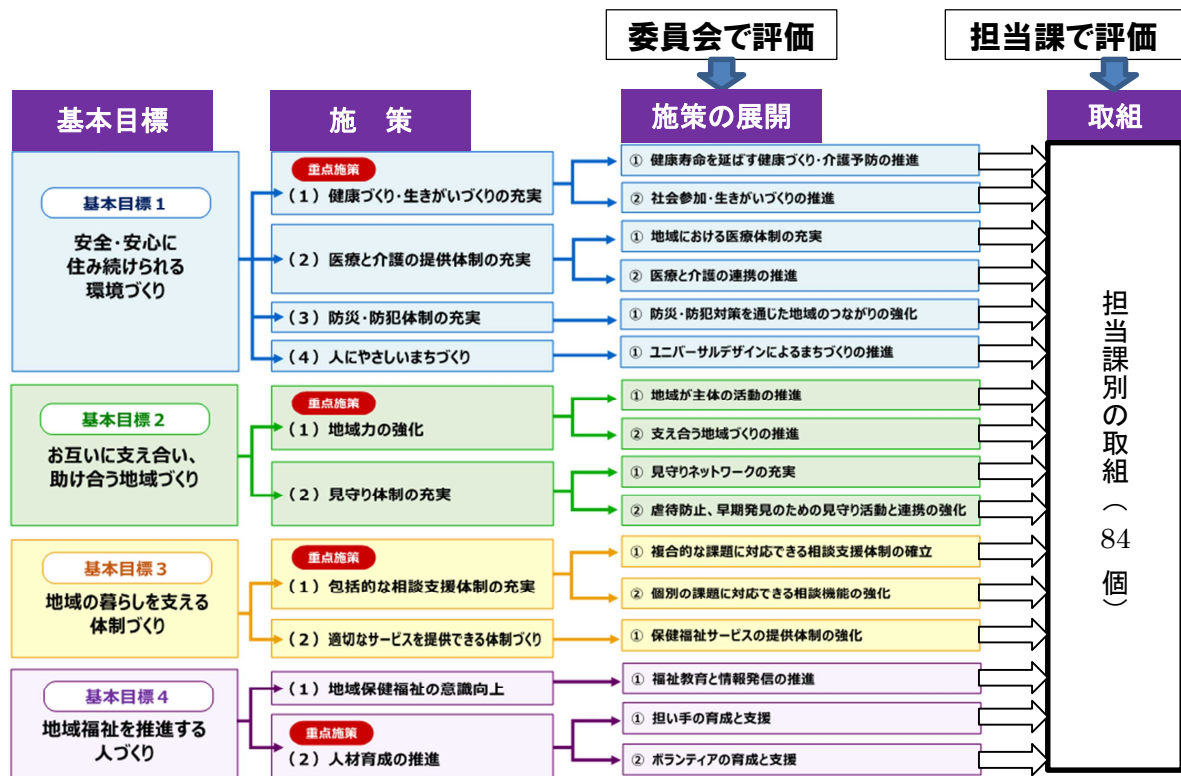
計画の進捗状況を把握し、課題を浮き彫りにし、改善策を検討・実践し、地域福祉の推進を図る。

評価の方法

評価はA実施状況の評価とB評価指標の評価の2つの評価を行う。

A実施状況の評価

- 1 「取組」の実施状況調査を毎年度実施し、担当課評価（主観的評価）を得る。
 - 2 1の集計を資料にして、「施策の展開」毎の委員会評価（客観的評価）を決定する。
- ※評価の対象が異なる理由：委員会が担当課レベルの「取組」を評価するのは困難であり、一つ上の枠組みの「施策の展開」を評価するのが妥当と考えたため。



— 評価の選択肢（担当課評価・委員会評価 共通） —

- S：特に良い成果を得た。
 A：良い成果を得た。
 B：期待した成果を得られなかった。
 C：検討中、未実施、終了のため評価なし。

・委員会評価は、各委員の評価を集計し、得票数の一番多い評価とする。

B評価指標の評価

重点施策ごとに設定した9つの評価指標（計画書P82）を、毎年度、担当課に調査する。ただし、指標の一部にアンケート調査の結果を基に評価するものがあり、現時点で全ての指標は揃わないことから、全指標についての評価はアンケート調査の実施年（令和6年度予定）となる。

推進の方法

評価の結果から課題を把握し、今後の推進の方向性等を委員会で検討し、委員会の意見を各課に伝えることで、推進を図る。

スケジュール（令和5年度）

	評価手順	予定日
A	令和4年度実施状況調査 担当課に「取組」の実施状況と自己評価を調査する。	7月
B	Aを委員に郵送し意見・委員評価（個人）を集める。	8月
C	Bを集計し、質問等があれば担当課に回答を求め、委員会評価（案）を作成する。	9月
D	地域保健福祉計画策定・推進委員会の開催 Cについて会議において検討し、委員会評価を決定する。	10月
E	Dを、市ホームページに会議資料として掲載する。	11月

スケジュール（5年間）

年度	予定
R2	・第1回評価（令和元年度実績の評価） ・評価・推進方法の検討。
R3	・第2回評価（令和2年度実績の評価） ・評価・推進方法の修正を検討。
R4	・第3回評価（令和3年度実績の評価） ・評価・推進方法の修正を検討。
R5	・第4回評価（令和4年度実績の評価） ・評価・推進方法の修正を検討。 ・委員会を開催し、次期計画の策定方法を決定する。
R6	・第5回評価（令和5年度実績の評価） ・評価指標の評価&次期計画策定のため市民アンケート調査を実施する。 ・委員会を開催し、次期計画を策定する。